

たばたあずみ



Tell・Fax 550 6674

山根とみえ



Tell・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax 558 9721

## 長野県 塩尻市・木曽町を視察

日本共産党あきる野市議団は、1月23・24日、図書館を含む総合施設の取組みとして塩尻市市民交流センター、コミュニティバスの先進的な例として木曽町を視察しました。

### 塩尻市市民交流センター えんぱーく

#### 市民による市民のための施設

塩尻市の「えんぱーく」と名付けられた市民交流センターは、企画の段階から市民だけで構成された4つのワーキンググループによる意見を取りまとめて作られ、図書館・子育て支援・青少年交流・シニア活動支援・ビジネス支援・市民活動支援を重点分野とした複合施設として2011年にオープンしました。

#### 「これからの図書館像」

図書館機能について、人気の本や新刊など冊数を多く取りそろえた単なる「貸本屋」ではなく、専門書などを系統的に扱い、ビジネスや暮らしの支援ができる「課題解決型図書館」にしたいという説明には、目からウロコ!! 本の並べ方やイベントに絡めた展示の手法などにも学ぶ点が多くありました。



ジャンル別分類で文庫・新書とCDが同じ棚に。

#### 市民の交流を生み出す工夫



口腔ケア教室。とても楽しそうです。

交流センターとしてのエリアと図書館としてのエリアが混在しているのが大きな特徴。利用者同士の交流を生むものにしたと、ほとんどの部屋はガラス張り、食育室に至っては音にもおいも流れ出すつくりです。

広く取られた廊下はフリースペースとして利用され、磁石の使える壁面を1面1日50円で貸すなど、市民が自由に「何かをする」場を提供しています。

当初年間40万人を予定していた利用者は、すでに60万人を突破、年度内には100万人に到達の見込みです。



廊下の一角では囲碁の会。

#### 子育て支援も近くで

隣接するイトーヨーカドー撤退後の建物の1フロアを市が借り上げた「こども広場」は未就学のこどもたちが遊べる場所。冬になると外遊びが大変な地域のため、この日もたくさんの親子連れが訪れていました。あきる野市でも、空き店舗の活用などにいかせる取り組みです。

### ゾーンバスシステム

巡回バス 幹線バス デマンドタクシーが混在

#### すべてのバスをつないで

木曽町は、平成17年に開田村・木曽福島町・日義村・三岳村が合併して生まれました。それまでそれぞれの町村で別々に走っていた民間バスを町営にして統合、すべての路線が接続し合うように作り変えました。

山間に2~3軒の集落が点在する地域では巡回バス、バス停まで遠い地域にはデマンドタクシーを走らせて、幹線バスのバス停までの足を確保、すべての住民が駅に出られるようにしています。



木曽福島駅ですれ違う幹線バスと巡回バス。

#### さよなら「バス代貯金」!

町営にしたことで、それまで片道1560円(高校生の通学定期で年間30万円!)もかかっていた地域も一律200円で利用できるようになってよこばれています。「日本



で最も美しい村」連盟に加盟し、観光に力を入れている木曽町。幹線バスは観光地もつなぎ、観光客の利用も大きな収入源とのことでした。

#### 市民の生活に欠かせないものだから

統合前に住民アンケートを実施、9カ月間の試験運転を経て運行。現在も、市民団体の代表による交通協議会などでさらに使いやすくするための改善を重ねています。

市の負担は増えましたが、収入の問題よりも「生活の手段」であり、ガスや水道などと同じ「生存権のひとつ」として優先的な整備を考えたとのことにお話に納得し、あきる野にもぜひこの考え方を広めたいと強く感じました。

#### 法律相談

2月23日(木) 13時30分~15時  
予約が必要です。市議団までご連絡ください。